入っ子

R4年度　学校だより　No. １０
令和４年１１月２８日発行
入野小ブログ　毎日更新中
ホームページアドレス　http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/irino-e/

冬季の服装について

～安全を第一とし、華美なものは、できるだけ避けて～

もうすぐ１２月。朝晩ぐっと冷え込むようになりました。子供たちの中には、登校時に手袋を着けてきている子もいます。年末年始には、お子さんの服を新調する御家庭もあるかと思います。寒さが一層強まるこれからの時期に、子供たちが安全に学校生活を送るため、入野小学校の冬季の服装についての約束を紹介します。

体育の授業

◇ **準備運動や補助運動のとき**

→　**長袖の上着を着用してもよい。**

＊ただし、身体が温まり、主運動をする際には上着を脱ぐ。
この場合の上着は、安全面を考え、フードやひもなど引っかかるものがついていないもの（トレーナーやジャージなど）がよい。

◇ **主運動のとき**

→　**長袖の体操服を持っている子は、長袖の体操服を着る。**

＊半袖の体操服の下に長袖のシャツ（アンダーシャツ・インナー等）を着用するときは、白または黒のものとする。

◇ **体操服のズボンの下**

→　**タイツは、はかない。**

・身体が温まっても脱ぎにくく、けがをした際の手当てがしにくいため。

＊スパッツ、レギンス等を着用する場合、応急処置のできる長さのもので、白または黒とする。

＊破れやすい素材のもの、運動の妨げになるものは、避ける。

＊レッグウォーマーは、不可。

＊長めの靴下をはく場合、大きな装飾（リボン等）のついたものは、避ける。

◇ **手袋**

→　**手袋を着用しても支障のない運動は、可。**

＊5 本指に分かれており、大きな装飾が付いていないものに限る。

教室内の授業（学習）

◇ **活動しやすい服装で過ごす。**

＊外套（がいとう）（コート、ジャンバー、ダウンジャケット）は、脱ぐ。

＊部屋着と外套を区別できるようにする。

＊トレーナー、カーディガン、フリースなどで、体温調節をする。

外遊びに行くとき

◇ 部屋着の上に、動きやすく安全な上着（ジャンパー等）を１枚羽織って出るとよい。

＊フードのついたものは、遊具に引っかかり、首が締まる恐れがあるのでできるだけ避ける。

＊ハンカチ、ティッシュを入れるポーチも、遊具に引っかかる恐れがあるので、できるだけ避ける。

今後、新しく学校に着ていく服を買う際には、できるだけフードのないもの、ハンカチを入れるポケットのついたものを選んでくださると、お子さんがより安全に過ごすことができると思います。御配慮をお願いします。

また、これから、上着や手袋などの落とし物が増えることが予想されます。例年、名前がどこにも書かれておらず、本人のところへ戻すことができないままのものが多くあります。お手数ですが、記名への協力をお願いします。

なお、携帯カイロを使用させる際には、氏名を書いて持たせ、使用後は、各家庭にて処分をされるようにお願いします。